

(端裏書)

「護法院

万里小路民部卿」

以手紙得御意候然者

兼而御存知被成候

通大谷九右衛門事

京都御外戚清水谷

前大納言殿江御心安

御出入仕候故彼御方

より御頼有之

宮様江茂御目見等

被仰付候事ニ御座候

此度九右衛門

公儀江之願之筋

相濟国元伯州

米子江罷帰候由、就夫

九右衛門義米子御城主

不相替只今迄之通

御憐愍之御申付被

遣候ハ、

宮様御悦可被思召候

間此等之趣無急度

貴院より御檀家役人

中迄右之趣宜御申

入可被成候、以上

十二月十八日